

学校主体の取り組み

吉美 牧 和泉市立鶴山台北小学校
(2006年に交通環境学習を実施)

5年生になり、社会科で農業・水産業・工業の学習が始まったこと、総合学習で様々な農業体験をしてきたことにより、ますます環境に関する興味関心が高まっていた。

なかでも高速道路の近くに住んでいることから空気の汚れに関しては関心が高く、校区の様々な場所にある植物（マツやカイヅカイブキ）の気孔の観察をして汚れの度合いを比較するなどの取り組みはしていたが、NOx調査キットをいただいて汚れを数量化することにより、よりわかりやすいものとなったと思う。

クルマ大集合では、学校だけでは準備できないような実験や体験活動を幅広く体験できて、子ども達にとっても教師にとってもとてもよかったと思う。

また、何回かの体験活動に保護者の参加があったこと、実践の経過や事後の子ども達の感想などを学年便りなどを通して各家庭にお知らせしたことにより、保護者にも何らかの意識変革があったように思われる。

学校の進め方に合わせた協力を得られて、本当によい学習ができたと思う。

